

医療安全管理委員会及び医療安全推進担当者会活動報告

2020 年度

日時（実施日）	内容	総評価・考察
毎月（第 3 木曜日）	<p>医療安全管理委員会；各部門の問題を抽出及び院内全体の医療安全に関する組織的な取り組み</p> <p>医療安全推進担当者会；医療安全管理委員会の下部組織、事例を用いた分析及び各部署での実践</p>	<p><u>インシデント・アクシデント報告件数：2427 件/年(病院：1883 件・老健：543 件・訪問看護ステーション：1 件)うち 3 b 以上報告件(病院)31 件 (老健 5 件) 転倒・転落による骨折 10 件</u></p> <p><u>医師報告：23 件</u></p> <p><u>患者誤認に関する報告：143 件</u></p> <p>昨年度と比較し、総報告件数 755 件増加した。病床数の目標 4 倍を大きく上回った。医師の報告件数は 7 件増加した。</p> <p>TQM 活動で患者誤認インシデント削減に取り組んだ。患者誤認件数は 82 件→143 件と増加した。要因は、未然に防いだインシデントが 14 件→86 件に増加したためである。ルール通り行なえなかったインシデント 64 件→57 件に減少し活動の成果があった。活動の中で、ネームバンド装着率が低いことが分かった。</p>
毎月第 2・4 木曜日	<p>5S ラウンド（安全環境）</p> <p>目的別ラウンド（ルールの認知度や実施状況を確認）</p>	<p>月 2 回の 5S ラウンド（安全環境）に加え、6 月より月 1 回の医薬品安全ラウンドを実施した。</p>
随時	<p>マニュアルの改訂・追加。</p> <p>医療安全ニュース配信。</p>	<p>発生インシデントを基にした、医療安全ニュースを 6 回配信した。</p>
1 回/年：各病院	<p>地域連携病院との相互監査ラウンド：加算 I 病院</p> <p>地域連携病院へ監査ラウンド：加算 II 病院</p>	<p>加算 I 昭和病院、加算 II 武久病院との監査ラウンド予定したが、新型コロナ感染状況を考慮し中止となった。</p>

【研 修】

開催月	テーマ	対象者	評価
4月	新入職員研修「医療安全」	新入職員	医療安全の考え方、医療安全にかかわる組織、医療事故調査制度について、当院の医療安全に対する取組の実際について、講義形式で行った。
9月	新人看護師研修「急変対応」 医療安全の立場から	新人看護師	ハリーコール体制、急変時の記録記載の注意点、死亡時画像診断について講義形式で行った。
11月	看護補助員・クラーク研修「誤認防止の知識を深め現場で実践しよう」	医療補助員（クラーク含む）	参加者：28名 患者確認方法を周知、事例を踏まえた対策を説明した。
2月	院内急変シミュレーション (ハリーコール演習)	全職種（医療安全推進担当者・老健職員）	参加者：28名 老健にて心肺停止発見のシナリオで行った。新型コロナ感染防止観点から、医療安全推進担当者、老健職員のみで行った。病院、老健お互いの状況を知る良い機会になった。老健には看取り承諾者はあるが、急変時の医療処置希望（DNAR）の確認書類がない。今後、書式作成の必要性がある。
3月	医療安全・医薬品安全管理研修「インスリンを安全に使用していただくために」	全職員	参加者：379名 出席率：81.9% インスリン安全使用について、医療安全の立場から、薬剤師の立場から15分程度の動画を作製し、5日間繰り返し再生した。
5～11月	BLS・ICLS研修	全職種	ICLSは予定どおり実施 ICLS参加者：36名 全職員を対象としたBLS研修は新型コロナ感染防止の観点にて中止した。次年度は、感染防止に配慮した開催方法の検討が必要。